

西東京市を歩く(3)

南町・向台町・新町

3月23日(火) 晴れ

- ★ 東京の桜は3月14日に開花宣言、22日には満開宣言が出た。観測史上最も早い開花だそうである。雲一つない晴天、麗らかな陽ざし、満開となった桜の3拍子が揃った絶好の散策日和である。
- ★ 田無駅南口から市役所通りを横断し、向台東通りを南へ向かう。坂道を下り、石神井川に架かる向台橋を渡って登り返すと左手前方に向台小学校がある。小学校を行きすぎ左折すると間もなく向台公園に着いた。向台公園は武蔵境通りに面した小さな公園であるが、大きな木に囲まれているので、夏は涼しくて気持ち良さそうである。この日も小さな子供を連れのお母さんたちがグラウンドシートを広げて楽しそうにおしゃべりをしていた。辻さんはここからの参加である。
- ★ 向台公園を抜けて住宅街の中を進むと突き当りが阿波洲神社である。享保年間から開発が始まった上保谷新田に1752年(宝暦2年)に創建されたという。現在は無人で、田無神社の兼務社となっている。境内の南半分は大きな木の林である。



- ★ 阿波洲神社の隣は岩倉高校の野球グラウンドである。ちょうど選抜高校野球大会をやっているが、今年の東京代表は東海大菅生高校である。岩倉高校は昭和59年の第56回大会に出場し、決勝で桑田、清原のKKコンビを擁するPL学園に勝って優勝している。この日は選手の姿はなく静かであった。
- ★ 阿波洲神社と道を隔てた向かいには「平井園」という植木用の樹木を栽培する農家である。ミツバツツジやハナカイドウが咲いていた。西東京市にはこのような植木農家が多い。阿波洲神社を後にすると間もなく五日市街道と井之頭通りの合流点に出る。その目の前が多摩湖自転車・歩行者道の始点である。金児さんは会議の予定があるためここで帰られた。
- ★ 多摩湖自転車・歩行者道はウォーキング、ジョギング、サイクリングを楽しむ人達に人気のスポットで、かなり賑わう所であるが、平日の午後なので我々のような高齢者のグループや下校

途中の小学生たちが行き交う程度である。沿道はまさに春の花が一斉に咲き始めたところで、ひとつひとつの花を愛でながらゆっくりと歩いた。徳洲会病院前のおおぞら公園から梶原さんが加わった。

★ 上向台小学校の辺りで多摩湖自転車・歩行者道を離れ小金井公園に向かった。小金井公園には正門口のほかに東口、西口など5つの入口があるが、志賀さんのご推薦により北口から入った。この入口の両側はシダレザクラの並木になっていて、ちょうど見頃を迎えていた。その美しさに思わず歓声が上がった。公園の南には売店があったり、子供用の遊戯施設があったりするの
で人出が多いが、北はバードサンクチュアリとなっている雑木林で大変静かである。我々は雑木林に沿って歩き、いこいの広場の縁を歩いて江戸東京たてもの園に行った。たてもの園前の広場は花見の名所で、稲門会でも毎年ここで観桜会を行ってきたが、去年と今年の観桜会はコロナウィルスのため中止となってしまった。

我々はたてもの園前の広場に設置されたベンチに座って桜を眺め、休息を取った。桜はほぼ満開であるが、あと数日するともっと華やかになるかなという感じであった。

★ たてもの園前広場の西側には「桜の園」と呼ばれる区画があり、いろいろな種類の桜が植えられ、桜の種類や特徴などの説明板が設置してある。この桜は特に丁寧に手入れされているので美しさも一段と鮮やかである。桜の園で解散となった。

散策の途中で見かけた花の一部です。





多摩湖自転車・歩行者道の始点にて



小金井公園北口にて

今回は梶原さんからも俳句を頂きました。

古い桜 若木に開花 譲りたり

歩みのみ 花筵無き 十二人

金子 正男

轉りや 人の気配に 鶉^{ひよ}去りぬ (*)

花きぶし 雨滴連なる ごとく垂れ

移築せし 是清郎や 花の冷 (**)

志賀 勉



(*) 鶉^{ひよ}はひよどりのこと

(**) 是清郎は、226 事件で反乱軍に射殺された大蔵大臣高橋是清の赤坂にあった現場邸宅を移築したものです。

のどけしや 水面に映る 樹木影

四方から 愛でて宜しき 糸ざくら

辻 直邦

廃れ屋を 気の向くままに 諸葛菜

木^{きぶし}五倍子とや 巖つきなれど 花かんざし

桑田 制三

花の下 友待つ間を 里人と

咲きなずむ 桜いくたび 見上げたり

大ざくら 根元に 若木育てをり

梶原 松子

松尾さんの近況報告

志賀さんと辻さんが 23 日の午前中に松尾宅さんにお見舞いに行かれました。
松尾さんは昨年 4 月に心臓のペースメーカーを入れる手術をしたそうですが、体調は安定していて、顔色もよく元気そうであったということです。言葉が不自由な以外は健康人と変わらないそうです。
その時 3 人で写した写真です。



写真と文 小島恕雄

参加者 金児利行、金子正男、桑田制三、小島恕雄夫妻、志賀 勉、辻 直邦
水野 聡夫妻、原田一彦、梶原松子、臼井静江、中村仁美 以上 13 名